

2024年 百里初午祭 アピール

私たちは、百里基地の誘導路を「く」の字に曲げさせているここ百里平和公園内に「9条の碑」を建立することが出来ました。

日本国憲法前文には、「政府の行為によって再び戦争の惨禍」を起こしてはならないこと、「日本国民は、恒久の平和を念願」し、「われらの安全と生存を保持」することを決意するとあります。二度と戦争をしない、武力の行使も威嚇もしない、そのため「陸海空軍その他の戦力」は保持しないと宣誓しています。「自衛隊は憲法違反」の思いを込めた「9条の碑」です。

自民政権は、安保条約のもとで9条「改正」を主張してきました。しかし戦争を望まない国民の闘いがこれを跳ね返してきました。2015年9月19日、安倍政権によって「集団的自衛権の行使容認」の「安保法制」が強行採決されました。さらに岸田政権は「閣議決定」というクーデターまがいの方法で、「敵基地攻撃能力の保有」をふくむ「安保三文書」の改訂を強行しました。5年間で43兆円もの軍事費を使う「戦争する国づくり」に大きく踏み出しています。さらに軍需産業を育成し、殺傷能力のある「武器」を輸出しようとさえしています。

百里基地では、有事を想定した日米共同訓練が行われるだけでなく、オーストラリアやインド、ドイツやイギリスなどとの共同訓練も行われるようになっています。訓練空域には、東海第二原発を筆頭に多くの原子力施設があります。その上空での戦闘機訓練そのものが危険極まりなく、複合事故の起こる可能性も大きくなります。また戦闘機訓練はひどい騒音をまき散らします。戦闘機は耳をつんざくような激しい騒音で私たちの毎日の生活を破壊しています。

戦争準備のための「共同訓練」は絶対に許すことはできません。

百里初午祭に集った私たちは、岸田政権が強行する「戦争国家づくり」を拒否し、改憲に反対し、憲法9条を守り抜きます。以上、アピールします。

2024年 2月11日

百里初午祭 参加者一同